

# いただいたご意見と対応方針(令和7年度 第2回区政会議)

番号	会議	意見内容	対応方針
1	第2回 はぐくみ・ 教育部会	不登校など課題を抱える子どもたちに対して、地域住民ができることがあれば知りたい。	近くで困っている子どもや保護者の方がいらっしゃれば、その方々に寄り添いながら日頃からの見守りやお声がけなどをお願いいたします。あわせて、子育て支援室をはじめ、地域保健活動などの住之江区役所のご紹介も含めお声がけいただきますようご協力をお願いします。
2	第2回 はぐくみ・ 教育部会	学校でプログラミングのチラシを児童生徒に配付する際、その情報が親にも伝わる工夫があると親から子どもに働きかけ等ができて良いと思う。	教員の働き方改革の一環として、教員の負担軽減を図るため、チラシの配布をできるだけなくしていこうという取組が進められています。そのため、各学校のホームページを通じてチラシをご覧いただけるようにしています。
3	第2回 すこやか・ まちづくり 部会	地域活動に、子どもや保護者、高齢者は関わる機会があるが、その中間層の人は機会があまりない。中間層の人を含め、クイズ大会など年齢に関係なくみんなが参加できる魅力的でメリッ特的感じられる行事を増やすことで、町会に加入するきっかけになるのではないか。	地域活動協議会が自律し、地域住民のニーズにあった誰もが参加したくなるような活動を行えるよう、引き続き、まちづくりセンターを通じて支援してまいります。
4	第2回 すこやか・ まちづくり 部会	町会費の徴収をはじめ、町会運営の負担を軽減できる有効なアプリや他区の好事例などを地域に情報提供するとともに導入への働きかけを行ってほしい。	引き続き、まちづくりセンターと連携して地域活動の負担軽減に有効なアプリの紹介など地域の状況に寄り添った、きめ細かな支援を進めてまいります。
5	第2回 すこやか・ まちづくり 部会	若い世代に地域の情報や区の情報をお届けるために、インターネット等や電子媒体を活用した情報発信をより強化する必要がある。昨年、小学校で実施した企業と連携した防災イベントのような、参加したら楽しそう、ためになりそうなイベントをもっとPRしてほしい。	従来の広報紙やホームページによる情報発信だけではなく、SNS(XやLINEなど)の活用など若い世代の方々に情報が届くような方法を検討し、引き続き取り組んでまいります。

6	第2回 防災・安全 部会	多くの人に地域の防災活動に参加してもらうための方策として、学校を会場にして子どもが参加できるような防災イベントを各地域で実施してはどうか。「こどもまつり」などのイベントも親子で参加するので、防災ブースを出展すれば関心を持ってもらえると思う。	「すみのえ区民まつり」への防災ブースの出展に加えて、地域が実施する「ふれあいまつり」へも防災ブースを出展しています。引き続き、たくさんの方に防災に関心を持ってもらえるよう、主催者と調整しながら啓発に努めてまいります。
7	第2回 防災・安全 部会	情報発信の有効な方法として、若い世代にはアプリが有効だと思うが高齢の世代にはなじみにくいため、広報紙やチラシなどの紙ベースで個々に届ける必要がある。	今年度、広報紙令和7年5月号・9月号・令和8年1月号において防災に関する記事を掲載し啓発いたしました。また、住之江区LINEやXといったSNSにおいても情報を発信しています。引き続き、様々な世代に有効な情報発信の方法を検討しながら取り組んでまいります。
8	第2回 防災・安全 部会	防災意識の向上に向け災害を自分ごととして捉えてもらうためには、地域防災リーダーの育成に加えて防災士など地域の中核となる人材を育成する必要があり、地域と防災士の連携が重要である。	地域と防災士をつなぐ取組として、今年度、大阪市危機管理室と連携し区内の防災士を対象にアンケートを実施しました。アンケートの結果を踏まえ、防災士と連携した取組について検討してまいります。
9	第2回 防災・安全 部会	自転車の交通違反に関する罰則規定を知らない区民が多い。広く周知するために、若い世代にはSNSが有効であると思うが、高齢の世代はSNSを活用しない方が多いので講習会やチラシでの注意喚起が必要だと思う。具体的な違反行為と反則金額を周知してはどうか。	令和8年4月1日の道路交通法の改正に向け、広報紙やSNS、チラシの掲示等による啓発を予定しています。引き続き、様々な世代に有効な情報発信の方法を検討しながら取り組んでまいります。
10	第2回 防災・安全 部会	自転車の交通違反に関して、自転車講習などで啓発することは重要であるが参加者が限られる。もっと広く啓発するためにチラシを全戸配布してはどうか。	令和8年4月1日の道路交通法の改正に向け、広報紙3月号において記事を掲載する予定です。
11	第2回 防災・安全 部会	自転車のマナーに関して、罰則の内容も含めチラシを町会掲示板に掲示してはどうか。	令和8年4月1日の道路交通法の改正に向け、住之江警察署と連携し、令和8年1月以降に各町会の掲示板へチラシを掲示する予定です。
12	第2回部会 (全体にか かるご意 見)	区長はいろんな企業に出向き区役所との連携に取り組んでいるが、地域の企業に出前授業や職場体験の受け入れにご協力いただくことで、子どもが将来住之江区に残って働こうという動機に繋がると思う。	住之江区に本社・会社がある企業にもご協力いただきながら、中学生の職場体験を受け入れていただいております。引き続き、子どもたちが様々な体験ができるよう学校・企業とも連携して取り組んでまいります。

13		委員からの意見について、「短期・中期・長期」の3段階に整理して話し合う というと思う。	
14	第2回部会 (全体にかかるご意見)	委員の任期1～2年の間にすぐやることと、将来の目標を分けて議論しないと、2年後に次の委員に交代する際に、具体的な課題を引き継ぐことができず、課題解決が進まない。	令和7年度第3回部会・全体会より、短期・中期の目標及び達成状況をわかりやすくお示しできるように、会議資料の様式変更を検討しております。
15	第2回全体会	昨年、区内の小学校1校にて防災意識の向上を図るため、PTA及び住之江区に本社を置く(株)ロゴスと連携し、巨大テントの設営や火付け体験などができる親子防災イベントが実施されたが、レジャーの観点だけではなく防災の観点において非常に有意義な体験ができたと思う。こうした体験は「防災・安全部会」だけではなく、「はぐくみ・教育部会」「すこやか・まちづくり部会」の3つの部会テーマに通じる取組だと思うので、区内の他校にも広げて取り組んでほしい。	親子防災イベントは、防災の観点だけではなく、子ども達が様々な体験をすることに意義がある取組と認識しています。今後の実施にあたっては、小学校や地域のニーズを聞きながら、PTAをはじめ学校、地域の皆様のご協力のもと取り組んでまいります。
16	第2回全体会	町会加入促進の取組は必要で、災害時のつながりの大切さをきっかけとしてPRすることはとても良いと思う。住之江区にも外国籍の方が増えているので、多言語での発信も必要であると思う。	区ホームページには多言語化したチラシを掲載しています。引き続き、外国籍の方をはじめ全ての区民に、効果的な情報を積極的に発信し、町会加入促進に取り組んでまいります。
17		町会のメリットを理解してもらうために、他の地域での町会のつながりが役立ったニュースなどタイムリーな情報を活用して町会加入促進に取り組んでほしい。	

18	第2回全体 会	<p>大阪市は災害が少ないので、町会加入の必要性を感じない人も多いと思う。地域が盛り上がり人間関係ができるようなイベントの方が、町会加入を促進するために効果的ではないかと思う。また、町会費の徴収にアプリを活用するなど、町会運営の負担軽減のための支援が必要ではないかと思う。</p>	<p>地域活動の負担軽減に有効なアプリの紹介など、地域活動協議会が自律し、地域住民のニーズにあった誰もが参加したくなるような活動を行えるよう、引き続き、まちづくりセンターを通じて地域の状況に寄り添った、きめ細かな支援を進めてまいります。</p>
19	第2回全体 会	<p>高齢化や共働きの増加など、町会活動などに係わる時間がない人が多いので、町会に加入しても負担が少なく、メリットもあるような仕組みが必要ではないかと思う。</p>	
20	第2回全体 会	<p>「はぐくみ・教育部会」のご意見をいただきたい事項である「学校の授業等において、児童生徒に体験いただけるような良い取組について」に防災を関連させてはどうか。具体的には能登半島で被災した写真を洗浄する「写真洗浄」の取組や、中学生があらかじめ防災について学び、近い将来をイメージして書く「防災小説」を取り入れてはどうか。</p>	<p>住之江区では、防災意識の向上と災害に対応できる小中学生を育成することを目的に、依頼があった小中学校を対象に防災授業・訓練を実施しています。取組内容の充実に向け、教育担当と連携し、小中学校のニーズも聞きながら検討してまいります。</p>
21	第2回全体 会	<p>可搬式ポンプの操作は難しいため、機器の定期点検を兼ねて地域防災訓練などにおいて区役所と連携し、実働的な防災訓練を実施してはどうか。</p>	<p>可搬式ポンプの操作方法については、住之江消防署と連携し、地域防災リーダー研修において訓練を実施しています。各地域での防災訓練については、各地域と相談しながら、充実した訓練内容となるよう取り組んでまいります。</p>